

X-FORT | お客様の声

導入時期：2012年4月

情報防衛を強化し 機密の漏洩を防御 台湾オムロン X-FORT (日本名: TotalSecurityFort) により 高柔軟度の防御と制御を実現

顧客リストや取引内容、または社員データのように、企業経営においては厳重に保護しなければならない数多くの重要な資料があります。2012年に個人情報保護法が実施されてから、すべての企業は今まで以上に法律を遵守しなければならなくなりしました。台湾オムロンは関連法律の需要に応えるべく、ファインアートテクノロジーのX-FORTを資料保護の重要ツールとして導入しました。周辺デバイスから資料へのアクセス制御が可能であるほか、同時にあらゆる資料の動向を有効に監視し資料の気密性と安全性を確保します。

日本オムロングループは創立80周年を迎えました。自動化技術、情報において時代の最前端を走る、世界の自動化業界のリーディングメーカーであります。台湾オムロンは台湾に設立され30年弱。台北、新竹、台中、台南の各地にサービス拠点を設置しております。『Best Automation Partner』を任じ、最新自動化技術、高品質の商品を以てお客様にサービスを提供、台湾工業の自動化レベル向上に貢献すべく努力して参りました。

台湾オムロンの総合的な自動化製品には：継電器(リレー)、カウンタ、タイマ、温度調節器(デジタル調節計)、パワーサプライ、光電スイッチ、無接点スイッチ、視覚センサ、プログラマブルコントローラ(PLC)、ネットワーク通信、モーションコントロール製品、RFIDシステム等があります。蓄積してきた80年の経験及び技術により、自動化応用のノウハウをユーザ様にご提供し、また工業界には様々な最適自動化ソリューションをご提供しております。

個人情報保護法の実施に伴い、多くの企業が相次いで包括的な情報システムを導入し資料漏洩の防止を図って来ました。もともと、企業は早い時期からお客様との取引の安全性を保証するため、大小様々な予防措置を講じていました。しかしこれらの措置の背後では、多くの場合完全且つ包括的な管理及び監視制御メカニズムの欠如を露呈していました。

「オムロングループの場合、かなり早い時期から個人情報関連の問題を重視してきました」台湾オムロン企画部IS課 課長呉偉賓氏はこう述べました。「特に日本の親会社では、早期に日本で施行されていた関連法律J-SOX及び個人情報保護法に対応していたため、その規範がすでに整っていました。」



台湾オムロン 企画部IS課 課長 呉偉賓氏

しかし、個人情報保護法は地理的な相違性もあり、国と地域それぞれの制定内容が異なるため、日本本社ではすでに関連政策を導入していたものの、台湾では昨年9月の法令公布後ようやく従うべき指標ができた次第です。

グローバル化商品によりローカル商品との差別化を確保

台湾オムロンはファインアートのX-FORTを個人情報保護法対応の為に主要施策として採用しました。最も重要なポイントはファインアートのX-FORTが日本市場進出に成功し、品質も一定水準に達しており、優秀な成績を収めていたことです。

「当社グループは日系企業でありますので、日本における導入事例があるという事は非常に大きな影響があります。」呉偉賓氏は

このように述べ「また多くの個人情報保護製品を評価した結果、ファインアートのX-FORTは非常に多くの保護措置を有し、同時にポリシー管理面でもかなり柔軟性があります。相対する様々な規範に基くニーズにより設定することが可能であり、管理者の業務負担を大幅に低減することができました。」

台湾オムロンは貿易業を主要業務としているため、最も重要な資料は顧客資料と取引明細です。現在150人の社員がおり、カバーする範囲は台湾全域に及びますが、IT担当者は僅か4人に過ぎません。そのため製品を評価する際、法規関連の需要のほか、自動的、ヒューマンフレンドリー、更に柔軟性を満たすことを求めました。これによりIT担当者をサポートすることが可能となり最大の効果を生み出すことができるからです。

「現在我々が管理する主要項目はデスクトップ型パソコン、ノート型パソコン及びUSBフラッシュドライブ等の項目です。」と呉偉賓氏は説明しました。「中でも最も監視制御と管理を要するのがUSBフラッシュドライブです。会社のポリシーとしては社員がUSBを使用しデータにアクセスする事を許可していますが、登録済みのUSBに限ります。未登録のUSBは使用及び接続はできません。」

台湾オムロンのすべての社員はUSBを使用する際X-FORTシステムに申請、登録しなければなりません。その後ファインアートのX-FORTは監視及び資料にアクセスする動作を記録します。後日何らかの疑問が生じた場合、ログを閲覧し問題の発生箇所を探ることができます。現在台湾オムロンはすべての社員の業務のニーズを尊重するという方法を採っております。監査を重視し、過度な管制により業務が不便になることを回避しています。

ソフトウェアの互換性と成熟度が重要な評価基準

新しい管理システムの導入にあたり、最も気掛かりなことはソフトウェアの互換性であることは否定できません。しかし、ファインアートはCMMI ML3の認証に合格しており、開発の品質が保証されていました。またソフトウェアの互換性に関する検証も満足できるものでしたし、既存のソフトウェアの運用への影響もほとんどありませんでした。

「当初、最も心配していたことはアンチウィルスソフトとの互換性でした。一部の保護システムはアンチウィルスソフトとの間に問題が発生していました。しかし、ファインアートのX-FORTは運用も非常に順調で何も問題は起きませんでした。」と呉偉賓氏は述べました。「ただ、一部のクライアントPCは老朽化していたため、監視を続けましたがパフォーマンスに影響を受けました。」

管理、検索及びレポートにおいて各レベルの管理者が満足

ファインアートX-FORTの設定とインストールは非常に簡単です。台湾オムロンにとって、基本ポリシーの設定さえすれば、その他のセキュリティ規範は容易に設定できます。以前管理が行き届かなかった部分もくまなくカバーでき、検索も随時高速で行うことが可能になりました。

「当社にとって、情報保護の重要なポイントは検査及び監査にあります。X-FORTを使用することは、日常業務に支障をきたさないためです。」と呉偉賓氏は述べ「ほかにも、別の部署の管理者も随時社員の状況に応じて、関連レポートを閲覧することができます。部署の各レベルの管理者によりチェックが行われるため、管理が更に簡単になりました。」

また、台湾オムロンではポリシー管理の原則を採用しており、ポリシーが異なる社員はアクセスできるファイルも異なります。ファイルへの不正アクセスを回避できると同時に判断ミスの確率も低減することができます。

「台湾オムロンの原則は人間第一主義であり、我々は台湾オムロンで働くすべての社員を尊重しています」管理政策について呉偉賓氏はこのように説明しました。「ファインアートのX-FORTを導入した際、我々が強調したことは、これはあくまで異常管理であって統制ではないという事でした。これにより作業効率と安全性共に最高水準に達することができたのです。」

台湾オムロンファイル

台湾オムロンは1987年に設立、主に『工業自動化』商品を扱っております。自動化技術、情報において時代の最前端を走る、世界自動化業界のリーディングメーカーとして、台湾に於いても30年にわたり、台北、新竹、台中、台南の各拠点を通し、オムロンが培ったノウハウを以て台湾工業の自動化レベル向上に貢献して参りました。『Sensing Tomorrow』をモットーに、明日の社会に更なる創造をもたらす、人類と機械のコラボによる『最適化社会』を目指します。